

# 令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

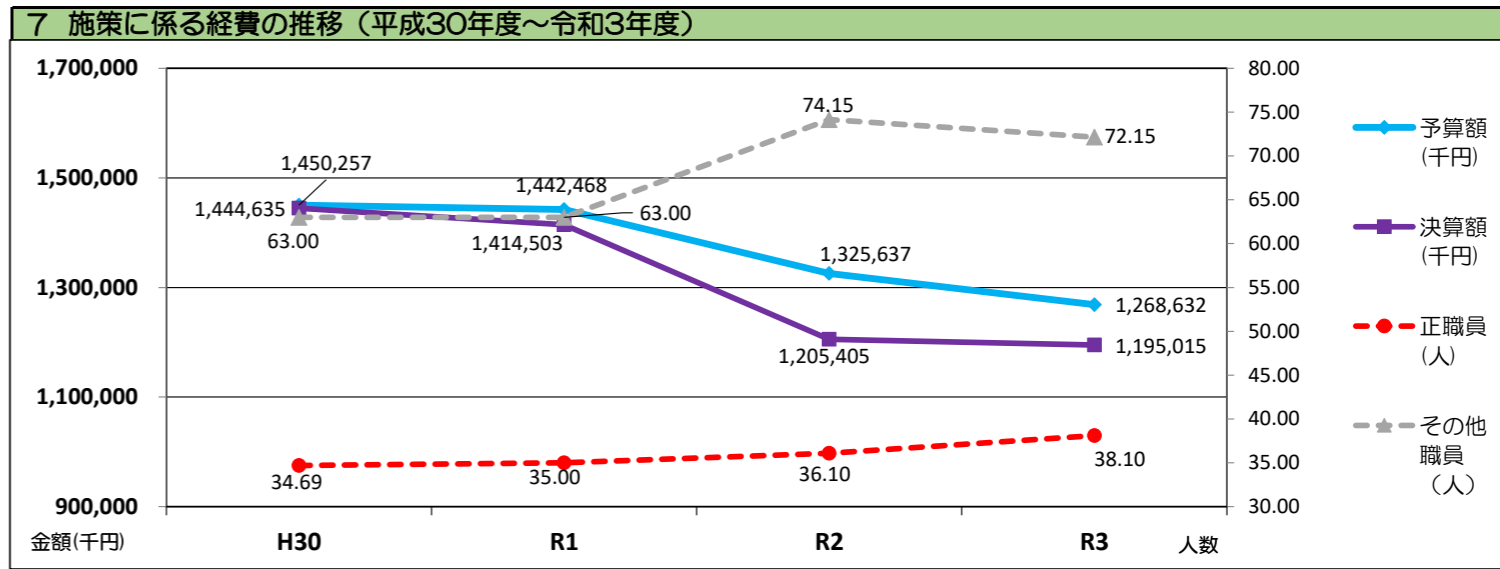
1 政策名および施策名	
政策	2 子育て・教育～子どもを育て学びを高めるまちをつくる～
施策	1 子育て支援の推進

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	子育て支援課
関係課	健康づくり推進課、生涯学習課

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
1,589,971	1,195,015	38.10	72.15	394,956	29,452

**3 施策の目的**  
 妊娠期から子育て期における様々なニーズに応え、次代を担う子どもたちが地域のなかで健やかに成長できるよう、子育て家庭への支援体制の充実を図り、「育つ楽しみ」「育てる喜び」を実感できるまちにします。

4 前期基本計画（平成30年度～令和4年度）に位置付けている目標指標										
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価	
地域子育て支援センター利用者数(人)	目標値		17,500	18,000	18,500	19,000	19,500	20,000	C	
	実績値	15,256	20,708	13,372	17,130	10,457	7,952			
赤ちゃん訪問(%)	目標値		100	100	100	100	100	100	A	
	実績値	93.8	96.3	94.7	95.1	96.9	94.2			
	目標値									
	実績値									



5 これまでの取り組みと評価（平成30年度～令和3年度）	
(1) 子育て世代包括支援事業の推進	評価 A
○乳幼児健診の実施により、子どもの発育発達、保護者の育児状況、養育環境を把握し、必要に応じて適切な支援を実施 乳幼児健診受診率 H30：97.8%、R1：95.2% R2：96.9% R3：94.6% ○赤ちゃん全戸訪問により適切な養育環境で育児が出来るよう支援するとともに、子どもの発達に合わせた事業を実施 赤ちゃん訪問実施率 H30：94.7%、R1：95.1% R2：95.6% R3：94.2% ○H31年4月から妊娠・出産・子育て期まで継続して支援を行うための「子育て世代包括支援センター」を設置。周知を中心に実施し、子育て世代の認知度を高めようとする。R1：福祉健康まつりにて子育て世代を中心にリーフレットを配布し周知を図った。 R2・R3：母子手帳配付時や検診時にリーフレットを配布し周知を図った。	
95 保育サービスの向上	評価 A
○女性の社会進出とともに保護者の労働環境が多様化する中ニーズに対応するため、延長保育・一時保育を市内全保育所にて実施 ・延長保育：市内全保育所実施（最大午前7時～午後8時まで） ・一時保育（緊急保育）：市内全保育所実施 ○専門知識を有する保育士を配置し、障がい児の処遇向上を実施 ・障がい保育事業：市内全保育所実施 ○放課後児童の健全な育成を図るため、学童保育室の充実 ・障がい児受入加算（民間2学童、公立1学童） ○新型コロナウイルス感染症対策の実施（アルコール消毒などの消耗品、二酸化炭素濃度測定器などの備品の購入） ○病児保育施設整備の支援	
(3) 要保護児童支援体制の充実	評価 A
○家庭児童相談室では、育児の悩み、家族関係等の相談を常時受付 ・相談件数 R2：27件、R3：40件 ○要保護児童対策地域協議会を実施し、関係機関のネットワークを構築するとともに地域全体での見守り体制を強化 ○児童虐待防止のための周知活動及び、子育てに対し不安を抱える保護者支援の実施 ・R2：市庁舎に児童虐待防止月刊を周知するための懸垂幕を設置し周知を図った。 ・R3：主任児童委員協力のもと、市庁舎入り口にて啓発品を配布。関係機関に対し、研修を実施。 ○子ども家庭総合支援拠点の設置準備	
(4) 子育て相談・支援体制の充実	評価 A
○地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター含む）等にて相談事業を実施、また、ファミリー・サポート・センター等にて子育て支援を実施 ・地域子育て支援拠点 利用人数 こどもひろば：4,761人（R2）、3,574人（R3）、支援センター（市内4か所）：5,696人（R2）、4,378人（R3） ・ファミリー・サポートセンター 利用件数 R2：79件、R3：105件 ○放課後子ども総合プランの推進＜放課後こども教室実施状況6校・（羽生北、岩瀬、井泉、新郷第一、羽生南、手子林）＞ ・一体型学校区4校（羽生北、新郷第一、岩瀬、羽生南） ・連携型学校区1校（手子林） ・その他（井泉） ※R2：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	
(5) 子育て家庭への経済的支援の推進	評価 A
○子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費をはじめ各種手当について支給を行い、ひとり親家庭等の自立促進のため継続的な支援を実施 ○多子世帯及びひとり親世帯への保育料軽減措置を継続的に実施 ○令和元年10月より、幼児教育・保育の無償化（3歳～5歳児）の実施 ○子育て世帯生活支援給付金（ひとり親世帯、その他の子育て世帯）：児童一人5万円給付 ○子育て世帯臨時特別給付金：児童一人10万円現金一括給付	

8 課題解決に向けた取り組みと改善策（令和4年度～令和6年度）			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 子育て世代包括支援事業の推進	○妊娠・乳幼児健診事業の継続 ○赤ちゃん訪問事業の継続 ○相談窓口としての子育て世代包括支援センター運営。	同左 および子育て世代包括支援センター中間評価	同左
(2) 保育サービスの向上	○延長保育の継続的な実施 ○一時保育（緊急保育）受入体制確立するため、担当保育士確保を図る ○障がい児受入体制を確立するため、加配保育士の人員確保及び処遇改善に努める ○学童保育室の充実を推進 ○病児保育施設整備の支援（令和4年度・令和5年度）	同左	同左
(3) 要保護児童支援体制の充実	○家庭児童相談室の運営 ○要保護児童対策地域協議会の運営 ○児童虐待防止の周知 ○子ども家庭総合支援拠点の運営	同左	同左
(4) 子育て相談・支援体制の充実	○放課後子ども総合プランの推進の継続 ○子育てに関する不安や悩みの相談体制の継続 ○地域子育て支援拠点（市内4か所子育て支援センター含む）、ファミリー・サポート・センター、子育てヘルパー事業、子育て短期利用支援事業利用件数の拡充のため子育て世代へ周知を実施 ○子ども家庭総合支援拠点の運営	同左	同左
(5) 子育て家庭への経済的支援の推進	○子ども医療費・ひとり親家庭等医療費・未熟児養育医療費助成事業の継続的な実施 ○児童手当・児童扶養手当支給事業の継続的な実施 ○ひとり親家庭等の自立促進のための補助事業の実施（羽生市ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業・羽生市ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業） ○多子世帯及びひとり親世帯への保育料軽減措置を継続的な実施 ○幼児教育・保育の無償化（3歳～5歳児）の継続的な実施 ○子ども医療費（令和4年10月分～）、ひとり親医療費（令和5年1月分～）の県内現物給付	同左	同左

# 令和3年度 施策評価シート

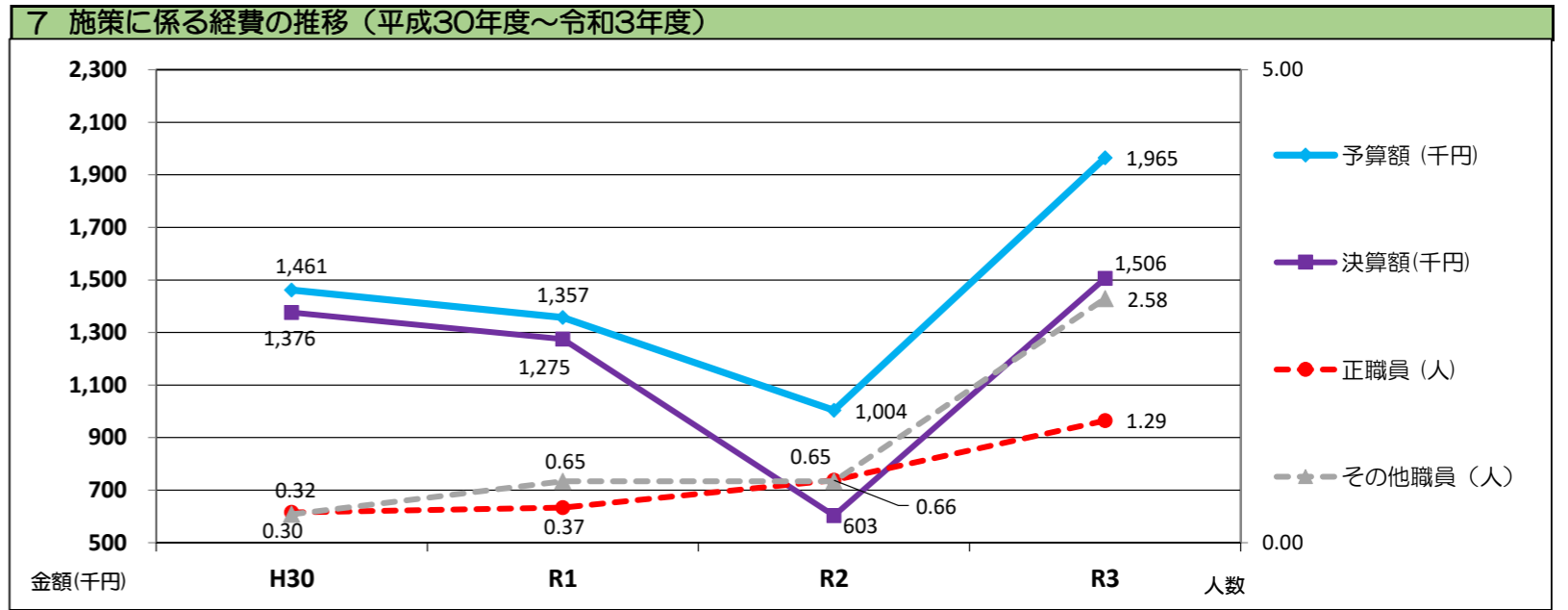
基準日：令和4年3月31日

1 政策名および施策名	
政策	2 子育て・教育～子どもを育て学びを高めるまちをつくる～
施策	2 家庭教育の充実

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	生涯学習課
関係課	学校教育課、図書館

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費 (千円)	決算額 (千円)	正職員 (人)	その他職員 (人)	人件費 (千円)	市民1人あたり (円/人)
15,045	1,506	1.29	2.58	13,539	279

3 施策の目的
<p>家庭で基本的な生活習慣の習得などのしつけができ、子どもの社会性が育ち、子どもと保護者のコミュニケーションが図られるように、触れ合える機会を増やします。 また、家庭・地域・行政等の関係機関が連携し、安心して教育に取り組める環境を整えることで、子どもたちを健全に育成します。</p>



4 前期基本計画 (平成30年度～令和4年度) に位置付けている目標指標									
指標名 (単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価
家庭教育支援講座への参加延べ人数 (人)	目標値		900	900	900	900	900	900	C
	実績値	873	1,019	1,300	1,203	418	559		
図書館おはなし会等への参加人数 (人)	目標値		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	C
	実績値	1,146	1,389	1,347	1,404	165	255		
家庭に「おうち図書館」を設置している保護者の割合 (未就学児の保護者) (%)	目標値		-	40	45	50	55	60	S
	実績値	-	-	68.9	66.6	65.2	61.1		

5 これまでの取り組みと評価 (平成30年度～令和3年度)		評価
(1) 子育て世代対象講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援NPO法人の育成・支援 (平成28年3月NPO法人設立)</li> <li>・親の学習講座等の業務委託</li> <li>・家庭教育支援事業の開催 (NPO法人主催) R元年度7事業実施 R2年度1事業実施 R3年度4事業実施</li> <li>参加者: R1年度374名 R2年度61名 R3年度225名</li> <li>○親の学習講座 (小中学校各新1年生の保護者+託児)</li> <li>・R元年度: 小中学校14校 参加者829人 ・R2年度: 小学校11校 参加者367人 ・R3年度: 小学校11校 参加者334人</li> <li>※令和2年度、令和3年度の中学校3校は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul>	B
(2) 親子で触れ合う時間の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市広報などにより「おうち図書館」を周知・奨励し、普及を図る。</li> <li>・市民アンケートによる「おうち図書館」の設置割合R元年度66.6% R2年度65.2% R3年度61.1%</li> <li>○ブックスタート事業 ・毎月1回、10か月児健診時に実施</li> <li>○セカンドブックスタート事業 ・毎月1回、3歳児健診時に実施</li> <li>○ちいさなおはなし会やおはなし会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちいさなおはなし会 毎月第1・3金曜日に実施</li> <li>・おはなし会 毎月第2土曜日に実施</li> <li>・外部講師を招いた児童文化講座を年2回実施</li> </ul> </li> </ul>	A
(3)		
(4)		
(5)		

8 課題解決に向けた取り組みと改善策 (令和4年度～令和6年度)			
令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1) 子育て世代対象講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務委託先の子育て支援NPO法人と連携し、事業の拡大と充実を図る。</li> <li>・親の学習講座及び講座開催時の託児</li> <li>・家庭教育支援事業</li> <li>・公民館等を活用した家庭教育支援事業</li> </ul>	同左	同左
(2) 親子で触れ合う時間の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「おうち図書館」の推奨。</li> <li>○ブックスタート事業 ・10か月児健診時に絵本を配布。親子の触れ合いの場を創出する。</li> <li>○セカンドブック事業 ・3歳児健診時に絵本を配布。読み聞かせ習慣や読書習慣の定着を図る。</li> <li>○ちいさなおはなし会やおはなし会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の触れ合いの場、親子同士のコミュニケーションの場をつくる。</li> <li>・外部講師による読み聞かせ会の開催やその方法についての指導を行う。</li> </ul> </li> </ul>	同左	同左
(3)			
(4)			
(5)			

# 令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

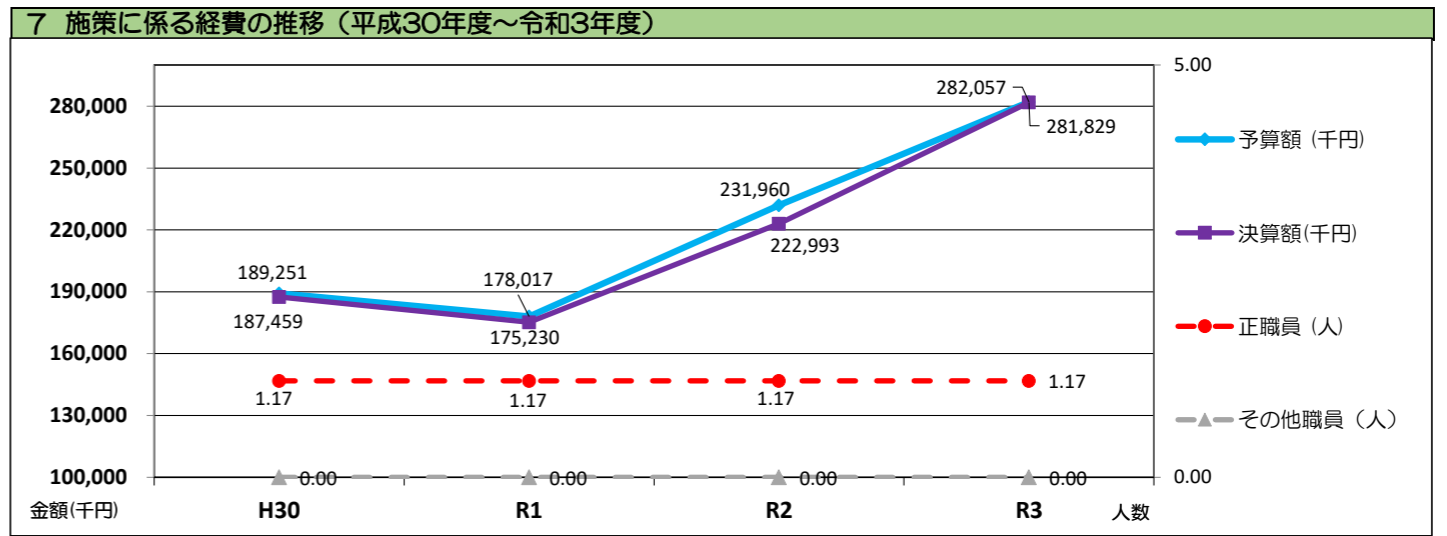
1 政策名および施策名	
政策	2 子育て・教育～子どもを育て学びを高めるまちをつくる～
施策	3 義務教育の充実

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	学校教育課
関係課	教育総務課、農政課

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
290,706	281,829	1.17	0.00	8,877	5,385

3 施策の目的
変化の激しいこれからの社会を生き抜くため、学校・家庭・地域が三位一体となり、「知・徳・体・コミュニケーション能力」を向上させ、子どもたちの「生きる力」を育みます。

4 前期基本計画(平成30年度～令和4年度)に位置付けている目標指標										
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価	
埼玉県学力・学習状況調査(小4～中3までの国、算・数、英の正答率) ※英は中2、中3実施	目標値		小 -2 中 -4	小 -1 中 -3	小 0 中 -2	小 +1 中 -1	小 +1.5 中 0	小 +2 中 +1	C	
	実績値		小 -3.2 中 -5.0	小 -1 中 -4.4	小 -2.1 中 -3.1	小 -0.8 中 -6.3	小 +0.2 中 -4.0	小 +1 中 -3.9		
学力アップ羽生塾参加者(人)	目標値		60	60	60	60	60	60	C	
	実績値		34	86	100	112	0			
学校応援団等参加人数(人)	目標値		14,500	14,600	14,700	14,800	14,900	15,000	S	
	実績値		14,497	10,458	11,824	11,888	17,121	26,462		



5 これまでの取り組みと評価(平成30年度～令和3年度)	
(1) 「知・徳・体・コミュニケーション能力」の向上による「生きる力」の育成	評価 B
<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーション能力を育み、思考力・判断力・表現力を向上させるために全国プレゼンテーションコンクールin羽生を開催し各校の取組を支援した。※令和2年度以降は、中止</li> <li>○1年間の学びを確認するために12月に「羽生市学力アップテスト」を実施し、弱点克服のための取組を行っている。</li> <li>○学力アップ羽生塾を開校し、小学校3年生から6年生の国語と算数の基礎学力の向上を図っている。</li> <li>※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> <li>○いじめの重大事態が発生していない場合でも、「いじめ問題調査審議会」を開催し、現状と課題について検証している。</li> </ul>	
(2) 教員の資質能力の向上	評価 A
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育奨励研究事業では、研究委嘱校、グループ研究、個人研究、緑化教育研究委嘱校が研究を進めている。</li> <li>○平成の田舎教師育成塾では、教員の資質能力の育成に向けて、経験豊富な指導者による研修を実施している。</li> <li>○校務負担軽減検討委員会を開催し、学校現場における業務の改善策について検討を進めている。</li> </ul>	
(3) 学校施設・設備の計画的な改修	評価 B
<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校の施設・設備は、昭和50年代までに設置されたものが多数を占め、それぞれ老朽化が進行している。これらを健全に維持管理し、良好な教育環境を確保するために、校舎や屋内運動場の改修工事等を実施している。</li> <li>○屋内運動場の非構造部材の耐震対策は、令和2年度の南中学校及び東中学校の工事執行をもって、全14校が完了した。</li> <li>令和3年度には中学校の特別教室に空調施設を設置し、中学校はすべての教室に空調設置が完了した。</li> </ul>	
(4) 学校教育における食育の推進	評価 A
<ul style="list-style-type: none"> <li>○6月と11月に食育月間、影の国ふるさと学校給食月間を設け、工夫を凝らした献立を実施した。</li> <li>○栄養教諭と連携した食育の授業を推進している。</li> <li>※R2・3年度：学校訪問は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、給食の調理過程の動画を作成し、各学校に配信した。また、食育に関する掲示物を作成し、各学校に配布した。</li> <li>○地産地消の意識向上に向けて農政課と協力し、地元食材を活用した給食を提供した。</li> <li>○年中行事食を意識した給食を提供している。</li> </ul>	
(5) 学校・家庭・地域が三位一体となる学校づくり	評価 A
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の授業公開や広報などにより学校の情報を積極的に発信するとともに、地域の行事への参加を通じ、積極的に家庭や地域と協働による教育を行っている。</li> <li>○学校応援団やスクールボランティア等、地域人材による学校支援により、学習支援や環境整備など開かれた学校づくりを推進している。</li> <li>○市内全小中学校において、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の取組を進め、地域の声を学校経営に生かす仕組みづくりを進めている。</li> </ul>	
(6) 英語力の向上	評価 A
<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校全校にALTを配置し、児童が英語に触れる機会を増やすとともに、英語の授業力向上を図っている。</li> <li>○英語の学習に先進的に取り組んでいる岩瀬小学校や村君小学校の実践を市内で広めている。</li> <li>○岩瀬公民館における英会話講座や村君英語村友遊プラザの実施により、地域全体で英語力を高めている。</li> <li>○英語4技能検定GTEC Jr2を実施し、学びの確認をし、課題解決のための取組を行っている。(令和3年度以降中止)</li> <li>○中学3年生に英語検定受験料を補助し、英語の学習への意欲の向上を図っている。</li> </ul>	

8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和4年度～令和6年度)		
令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 「知・徳・体・コミュニケーション能力」の向上による「生きる力」の育成	同左	同左
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力アップ羽生塾を継続し、国語と算数の基礎学力の向上を目指す。</li> <li>○羽生市学力アップテストを活用し、思考力・判断力・表現力の向上を図る。</li> <li>○授業改善指針「はにゅうの子」に基づき、授業をPDCAサイクルで改善する。</li> <li>○「いじめ問題調査審議会」を定期的に開催し、現状と課題について検証する。</li> </ul>		
(2) 教員の資質能力の向上	同左	同左
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育奨励研究事業による各校の課題を解決するための実践研究を支援する。</li> <li>○田舎教師育成事業による教員の資質能力を育成する。</li> <li>○「羽生市業務改善のためのアンケート結果」を基に、校務負担軽減策を具現化していく。</li> <li>○埼玉大学教育学部附属小・中学校との連携協定により研修の充実を図る。</li> <li>○デジタル教科書の一部導入、ICT活用の推進を図る。</li> </ul>		
(3) 学校施設・設備の計画的な改修	同左	同左
<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の学習効果を高め、安心して学校生活を送ることができるよう、学校の施設・設備の老朽化の状況を把握し、改修工事等を計画的かつ効果的に実施する。</li> <li>○南中学校B棟大規模改修工事、手子林小学校屋内運動場床改修工事により、安心・安全な教育環境整備を図る。</li> <li>○学校施設・設備の定期点検(建築基準法第12条の規定に準じた点検)を3校(須影小、川俣小、村君小)に実施する。</li> </ul>		
(4) 学校教育における食育の推進	同左	同左
<ul style="list-style-type: none"> <li>○6月と11月に食育月間、影の国ふるさと学校給食月間を設け、献立に工夫を凝らした取り組みを実施する。</li> <li>○栄養教諭と連携した食育の推進を図る。</li> <li>○地産地消を推進し、郷土色豊かな給食を提供する。</li> <li>○年中行事食を意識した給食を提供する。</li> </ul>		
(5) 学校・家庭・地域が三位一体となる学校づくり	同左	同左
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校応援団を中心とした地域人材の活用による、地域に根ざした学校づくりを推進する。</li> <li>○R-PDCAのマネジメントサイクルを生かした開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>○市内全小・中学校で、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の取組を進める。</li> <li>○令和4・5年度地域学校協働活動に関する研究委嘱(埼玉県教育委員会)を受け、地域学校協働活動の推進を図る。</li> </ul>		
(6) 英語力の向上	同左	同左
<ul style="list-style-type: none"> <li>○新学習指導要領の趣旨に則った英語科、外国語科、外国語活動の授業の充実を図り、児童の英語力を向上させる。</li> <li>○英語教育において、子どもたちがこれからの国際社会に対応できるよう小・中学校全校にALTを常駐させ、生の英語に触れる機会を充実させる。</li> <li>○地域ぐるみで英語教育を推進し、地域を活性化させるために、村君英語村推進事業を展開する。</li> <li>○中学3年生に英語検定受験料を補助する。</li> </ul>		

# 令和3年度 施策評価シート

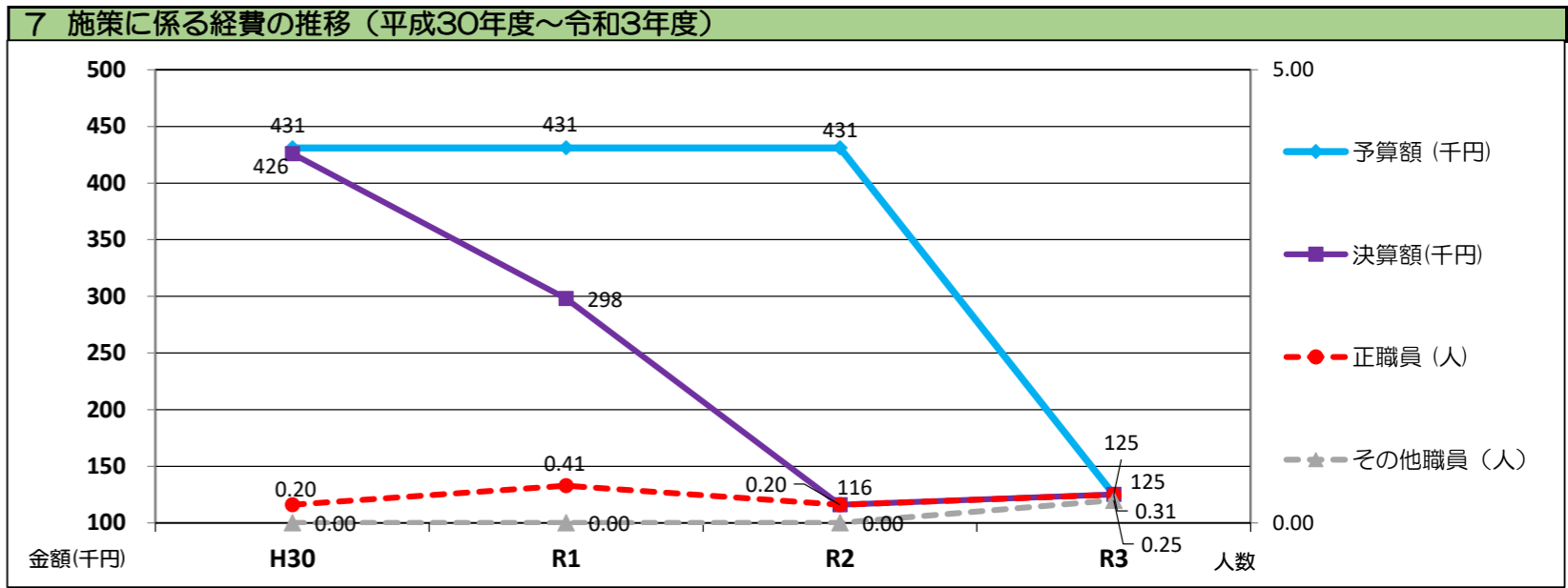
基準日：令和4年3月31日

1 政策名および施策名	
政策	2 子育て・教育～子どもを育て学びを高めるまちをつくる～
施策	4 高等教育機関等との連携

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	学校教育課
関係課	生涯学習課

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
2,841	125	0.31	0.25	2,716	53

3 施策の目的
市内にある高等教育機関等と小中学校との連携をより一層深めることにより、子どもたちの学びの場を広げます。また、学んだ成果を発表できる場を提供するとともに、高等学校や大学において市民が参加できる開放講座を開設するなど、専門的教育力を有効活用することで、教育力を向上させます。



4 前期基本計画(平成30年度～令和4年度)に位置付けている目標指標									
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価
開放講座への参加人数(人)	目標値		600	600	600	600	600	600	C
	実績値	551	764	756	735	0	0		
「子ども大学」修了人数(人)	目標値		40	40	40	40	40	40	C
	実績値	28	23	20	10	0	14		
高校生インストラクター講座開催数(講座)	目標値		3	3	3	4	4	5	C
	実績値	2	3	3	3	0	0		

5 これまでの取り組みと評価(平成30年度～令和3年度)	
(1) 学びの場の提供	評価 B
<p>○子ども大学はにゅうでは市内小学4年生から6年生を対象に、羽生の文化や産業の歴史を学ぶ等の体験型の講義を行っている。また、異年齢交流事業として卒業生をサポーターに迎え、令和元年度は児童10名・サポーター2名・計12名の参加により、実施内容の充実を図り、継続開催している。</p> <p>令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>令和3年度：8/19(木) 参加児童14名 ※感染症対策を徹底したうえで、規模を縮小し開催</p>	
(2) 専門的教育の連携・促進	評価 C
<p>○高校生インストラクター講座の開催</p> <p>令和元年度は以下の講座を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立羽生第一高等学校：「透明骨格標本作り」 申込人数：15名</li> <li>・県立誠和福祉高等学校：「ハンドセラピーを体験しよう」 申込人数：14名</li> <li>・県立羽生実業高等学校：「多肉植物の寄せ植え」 申込人数：17名</li> </ul> <p>令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p>	
(3)	評価
(4)	評価
(5)	評価

8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和4年度～令和6年度)			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 学びの場の提供	<p>○子ども大学事業</p> <p>埼玉純真短期大学と連携し、子どもたちの知的好奇心を刺激する「子ども大学」を継続して開催。小学校のカリキュラムとの調整を行い、夏休み期間中に開催を検討する。</p>		同左
(2) 専門的教育の連携・促進	<p>○高校生インストラクター講座を拡充し、学びの循環を創出する。</p>		同左
(3)			
(4)			
(5)			

# 令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

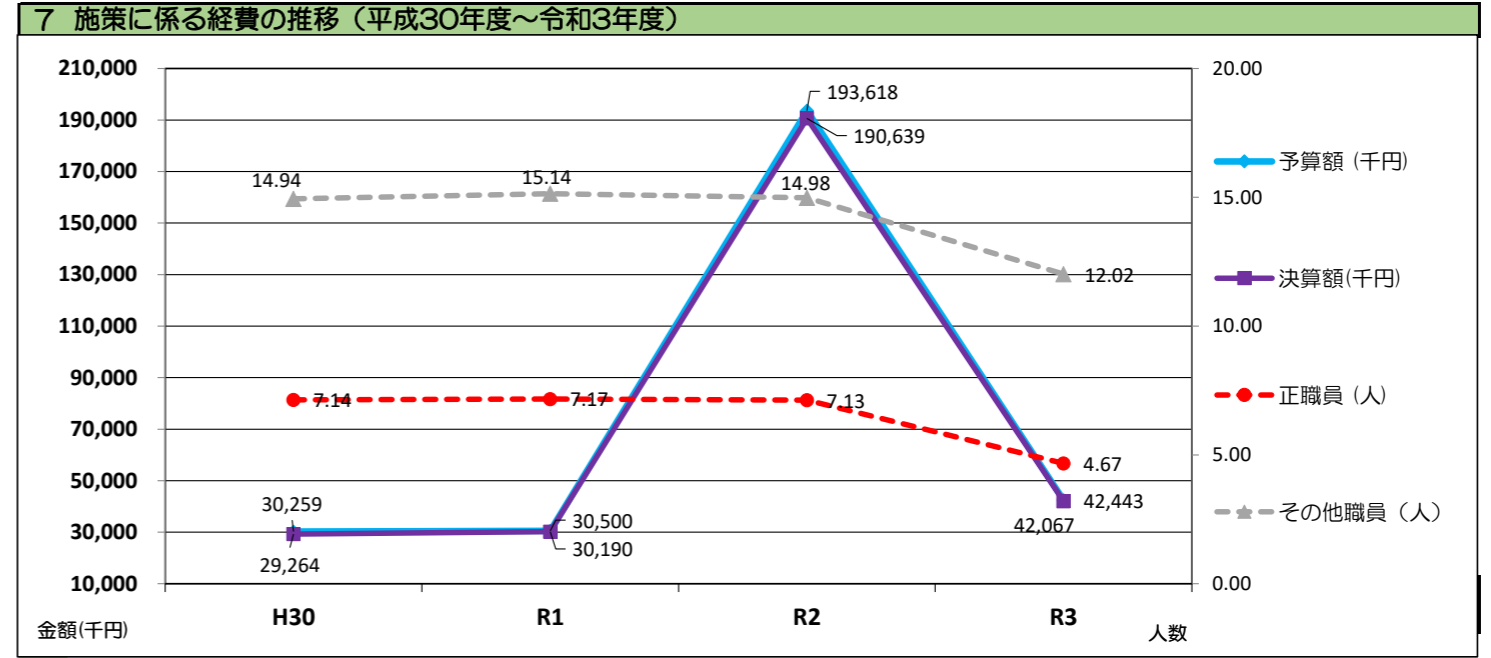
1 政策名および施策名	
政策	2 子育て・教育～子どもを育て学びを高めるまちをつくる～
施策	5 生涯学習の推進

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	生涯学習課
関係課	図書館、郷土資料館

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
94,976	42,067	4.67	12.02	52,909	1,759

**3 施策の目的**  
誰もがいつでも学ぶことができる環境づくりを進め、市民の自主・自立的な地域活動や地域での交流活動を支援するとともに、グローバル化に向けた国際理解教育に取り組み、様々な世代が自由に楽しく学んだことを生かせる地域社会をつくりまします。

4 前期基本計画（平成30年度～令和4年度）に位置付けている目標指標										
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価	
公民館利用者数(人)	目標値		122,500	123,000	123,500	124,000	124,500	125,000	C	
	実績値	122,000	134,673	125,859	115,510	34,803	52,164			
公民館登録サークル数(団体)	目標値		299	300	301	303	305	307	B	
	実績値	298	294	289	286	286	263			
「岩瀬グローバルタウン構想」関連講座への延べ参加者数(人)	目標値		500	500	500	500	500	500	C	
	実績値	253	525	832	644	261	185			
図書館等来館者数(人)	目標値		75,500	76,000	76,500	77,000	77,500	78,000	C	
	実績値	71,877	70,747	69,365	63,985	32,947	43,569			



5 これまでの取り組みと評価（平成30年度～令和3年度）	
(1) 生涯学習リーダーの育成	評価 B
○公民館による各種主催講座・教室や高齢者大学の実施 ・主催講座・教室の実施数 H30年度:149講座 延べ317回 R元年度:146講座 延べ430回 R2年度:83講座 延べ153回 R3年度:124講座 延べ242回 ・高齢者大学 各館12回 申込者数 H30年度 919人 R元年度:911名 R2年度:中止 R3年度:中止 ○市民講師登録制度の活用 ・講師登録者数 H31年度 59名・実施回数 3回 合計105名(年間10回弱開催見込) ※依頼については4件あったが、うち1件は講師都合のため開催に至らず。R2年度 26名・実施回数 3回 合計 32名 ・講師登録者数 R3年度 28名・実施回数 1回 合計 5名	
(2) 活動拠点の整備	評価 B
○生涯学習施設改修整備事業 ・H30年度:公民館障がい者駐車場改修工事(須影公民館ほか6館)等 ・R元年度:産業文化ホール空調監視装置定期部品交換修繕等 ・R2年度:産業文化ホール空調設備改修工事、産業文化ホール受電設備改修工事等 ・R3年度:産業文化ホール中央監視室全熱交換機交換修繕、産業文化ホール・図書館共同駐車場整備 ○生涯学習施設改修整備事業(図書館・郷土資料館修繕・工事) 平成30年度 図書館:庫裏電動シャッター修繕等、郷土資料館:連絡通路両側修繕等 令和元年度 図書館:非常用照明器具交換修繕等、郷土資料館:ハロゲン化物消火設備消火剤容器等交換工事等 令和2年度 図書館:書架増設工事等、郷土資料館:網戸設置工事・煙草室フレーザー交換修繕 令和3年度 図書館:屋上等防水改修工事等、郷土資料館:雨漏り箇所内装修繕等	
(3) 学習成果を生かす場の提供	評価 A
○公民館まつり・作品展・文化祭の開催(市内9公民館) ・R元年度:中央中央公民館2/28~3/1・新郷公民館2/21~2/23・須影公民館1/24~1/26・岩瀬公民館2/7~2/9・川俣公民館2/14~2/16・井泉公民館1/24~1/26・手子林公民館2/7~2/9・三田ヶ谷公民館1/24~1/26・村君公民館1/18~1/19 ・R2年度:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・R3年度:中央中央公民館3/4~3/6・新郷公民館2/3~2/27・須影公民館1/29~1/30・岩瀬公民館2/5~2/6・川俣公民館2/12~2/13・井泉公民館1/29~2/5・手子林公民館1/28~1/30・三田ヶ谷公民館1/28~1/30・村君公民館1/22~1/23 ○文化団体支援事業 ・市文化団体連合会補助金の交付(文化祭、各文化団体への助成)、舞台芸能発表会や郷土芸能発表会などの、発表の場の提供 ※R3年度:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
(4) 図書館の充実	評価 A
○蔵書の充実(購入冊数) 平成30年度 図書6,382冊(一般3,688冊、児童1,091冊など) 雑誌1,486冊 令和元年度 図書6,537冊(一般3,751冊、児童1,188冊など) 雑誌1,517冊 令和2年度 図書6,298冊(一般3,575冊、児童1,139冊など) 雑誌1,458冊 令和3年度 図書5,094冊(一般2,646冊、児童 973冊など) 雑誌1,410冊 ○映画会、朗読会などの講座開催 ・毎月、映画会を開催 大人のためのおはなし会 年1回開催	
(5) 「岩瀬グローバルタウン構想」による国際理解教育の推進	評価 B
○岩瀬英会話講座の継続実施 ・R元年度:初級編 10回、中級編 6回実施予定(申込人数 基礎編37名、中級編15名) ・R2年度:初級編 10回、中級編 6回実施予定(申込人数 基礎編37名、中級編15名) ・R3年度:初級編 5回、中級編 4回実施予定(申込人数 基礎編14名、中級編12名) ○特別講座の開催(年間3回) ・R元年度:ハロウィン(10月27日)・村君英語村と合同クリスマス会(12月21日) ・R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	

8 課題解決に向けた取組と改善策（令和4年度～令和6年度）			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 生涯学習リーダーの育成	同左	同左	同左
○公民館主催講座の充実を図り、講座内から新たなリーダーを発掘し、サークル化への支援や、講師の育成を進める。 ○市民講師登録制度を拡充し、市民講師の充実及び市民による講座の企画運営を支援する。			
(2) 活動拠点の整備	同左	同左	同左
○生涯学習施設改修整備事業 公民館や図書館・郷土資料館及び産業文化ホールの適正な改修と維持管理などを計画的に実施する。 公民館:中央公民館空調用灯油タンク電気防食工事等 図書館・郷土資料館:受電設備改修工事 ○同左 ・公民館や図書館・郷土資料館及び産業文化ホールの適正な改修と維持管理などを計画的に実施する。 ○同左 ・公民館や図書館・郷土資料館及び産業文化ホールの適正な改修と維持管理などを計画的に実施する。			
(3) 学習成果を生かす場の提供	同左	同左	同左
○主催講座やサークル活動での学習の成果を生かす場を創出する。 ○文化団体と協力して、加盟団体の活動支援を積極的に行う。			
(4) 図書館の充実	同左	同左	同左
○蔵書の充実 年間 図書3,700冊購入、雑誌1,400冊購入 ○映画会、朗読会などの講座開催 ・毎月、映画会を開催 大人のためのおはなし会 年2回開催			
(5) 「岩瀬グローバルタウン構想」による国際理解教育の推進	同左	同左	同左
○岩瀬英会話講座を継続的に実施し、英語や異文化について学習する機会を提供する。			